

病害虫発生予察注意報（第2号）

令和5年10月5日
神奈川県農業技術センター

病害虫名：果樹カメムシ類

作物名：カンキツ、カキ、キウイフルーツ等

1 発生地域：県下全域

2 発生量：多

3 注意報発令の根拠

- 予察灯における9月のツヤアオカメムシ成虫誘殺数は、伊勢原市で11,205頭（平年1,913.3頭）、平塚市で1,868頭（平年110.2頭）と、いずれも過去15年間で最も多く、9月6半旬に急増している（図1）。また、チャバネアオカメムシは、伊勢原市で8月6半旬、平塚市で8月3半旬から平年より多い（図2）。
- ヒノキ球果枝におけるチャバネアオカメムシ成虫の寄生は、9月下旬に急増している（図3）。
- 餌であるヒノキ球果におけるカメムシ類の口針鞘数は、9月下旬にヒノキからカメムシが離脱する目安とされる25本/果実を超えた地点がある（データ省略）。今後、ヒノキ球果の劣化に伴い、カメムシ類のヒノキからの離脱が進むと考えられる。
- 以上より、ヒノキから離脱分散した成虫が果樹園に飛来すると考えられるため、カンキツ、カキ、キウイフルーツ等の被害が多くなると予想される。
- 気象庁が9月28日に発表した向こう1ヶ月の気象予報は、気温が平年より高いことから、本虫の活動に好適な条件である。

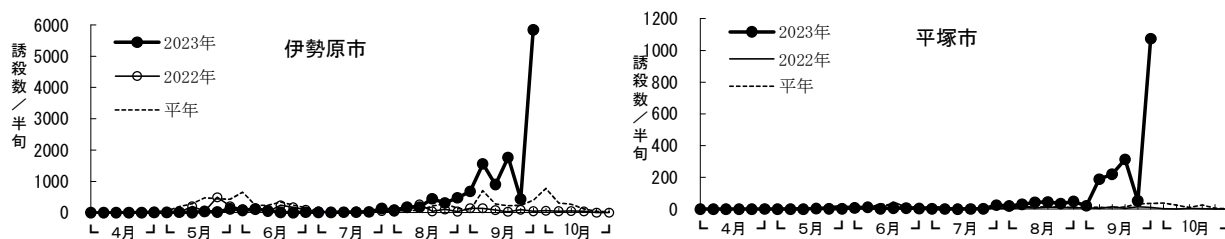


図1 予察灯におけるツヤアオカメムシ成虫誘殺数の推移

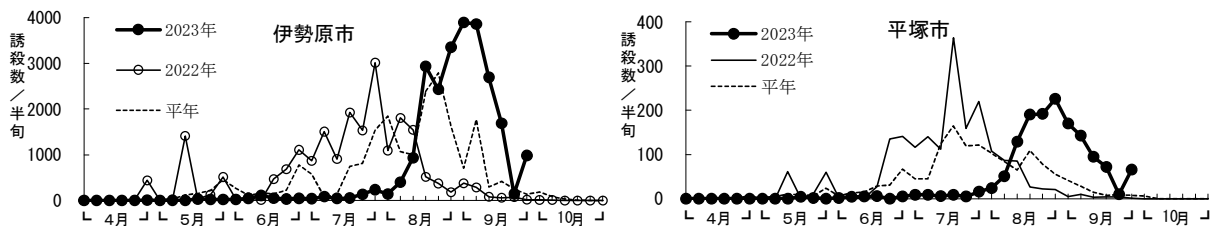


図2 予察灯におけるチャバネアオカメムシ成虫誘殺数の推移

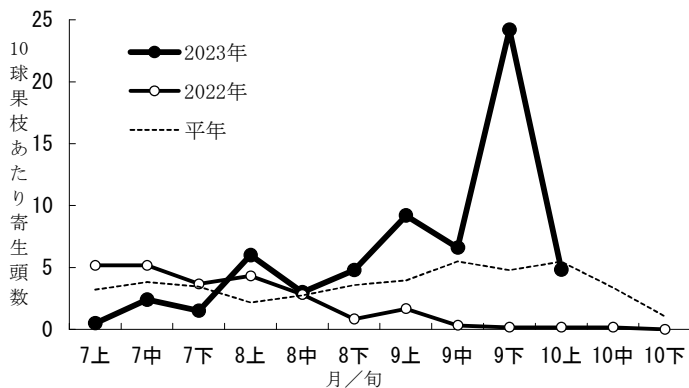


図3 ヒノキ球果枝におけるチャバネアオカメムシ成虫寄生状況（5地点平均）
 ヒノキ球果枝に網をかぶせ、たたき落としたチャバネアオカメムシ成虫数（1地点当たり10球果枝合計の平均）

4 防除対策

- (1) 果樹園の内外を見回り、発生を認めたら直ちに防除する。特にヒノキ・スギ林に隣接する果樹園は、急激に発生が増加することがあるため注意する。また、台風通過後に飛来が多くなる場合があることにも注意する。
- (2) チャバネアオカメムシには黄色防蛾灯が有効とされている。
- (3) カメムシ類に適用のある防除薬剤を下表に示した（令和5年度県病害虫雑草防除指導指針等掲載農薬）。なお、農薬使用の際は、必ずラベルの記載事項を確認し使用基準を遵守する。

表 防除薬剤例（○は登録あり、2023年10月4日現在の登録）

薬剤名	IRACコード	農薬登録の有無		
		カンキツ	カキ	キウイフルーツ
キラップフロアブル	2B		○	
アクタラ顆粒水溶剤	4A	○	○	
アルバリン又はスタークル顆粒水溶剤	4A	○	○	○
ダントツ水溶剤	4A	○	○	○
モスピラン顆粒水溶剤	4A	○	○	
アグロスリン水和剤	3A	○	○	
アグロスリン乳剤	3A	○		○
アーデントフロアブル	3A		○	
テルスター水和剤	3A	○	○	
テルスターフロアブル	3A	○	○	○
ロディー乳剤	3A	○		

神奈川県農業技術センター 病害虫防除部
 〒259-1204 平塚市上吉沢1617
 TEL 0463-58-0333 FAX 0463-59-7411
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/cf7/cnt/f450002/>